



うらは・ほろまが描かれた車体

無料

どなたでも無料でご利用いただけます

浦バス 3つの特徴

快適 車両

32人乗りのノンステップ小型バスです。(固定席17人、立ち席14人、乗務員1人)

自由 乗降

路線であれば、停留所以外でも自由に乗降することができます。乗車の際は手を上げて合図してください。

浦幌町コミュニティバス「浦バス」は平成29年1月の運行開始から1年半が経ちました。市街地循環、留貢温泉行き、郊外路線と3つの顔を持つ浦バスは、路線によって状況も様々ですが、利用されたことのない町民の方の試乗体験や普段ご利用されている方の声をお聴きしました。

発進から1年半 利用者の声



乗ってみよう

平成29年11月の「浦バス」導入で、新しく誕生したのが市街地循環の路線です。患者輸送バスや留真温泉バスから移行した他の路線と比べると、まだ知名度は低いですが、市街地中心部から距離がある光南地区や北栄地区をはじめ、南北に細長い市街地をめぐり、通院や買い物、パークゴルフなどに行く町民の利便を図っています。水曜日・土曜日の午前中、コスミックホールを始発終点として4巡(冬季の土曜は3巡)します。

今回、初めて利用する町民の方と試乗し、感想などを伺いました。

平成29年1月の「浦バス」導入で、新しく誕生したのが市街地循環の路線です。患者輸送バスや留真温泉バスから移行した他の路線と比べると、まだ知名度は低いですが、市街地中心部から距離がある光南地区や北栄地区をはじめ南北に細長い市街地をめぐり通院や買い物、パークゴルフなどに行く町民の利便を図っています。水曜日・土曜日の午前中、コスミックホールを始発・終点として4巡(冬季の土曜は3巡)します。



体験試乗で 市街地 1 周

便利さ実感「利用したい」

体験試乗で 市街地 1周

景色楽しみ、気持ちよく

が見えると、手を上げて止め、
乗り込みました。

9時58分に町立診療所へ。10時1分に幸町の名停留所に停車。嘉藤さんは時刻表や地図を見ながら経路や時間を確かめています。バスはこれから市街地北側に向かいます。

A black and white photograph showing a woman from behind, wearing a white sun hat and a dark coat, standing at the open entrance of a white bus. The bus has large, dark hand prints painted on its side panels. The brand name "HINO" and "poncho" are visible on the front left corner of the bus. The bus is parked on a street with trees in the background.

浦バスに乗り込む嘉藤さん

物も徒歩で出かけていますが、将来のことを考えると不安もあると言います。浦バスのことは知っていますが、何時にどこを通るのかいまひとつ実感がなかったそうで、とにかく一度乗つてみようということで、今回の試乗となりました。

5月30日午後9時40分発の第2便に乗つて1回りしてみることに決め、当日、自宅近くの路線上でバスを待ちました。



「乗り心地がいいですね」笑顔の嘉藤さん

乗り心地については「窓が広く、家々の花壇を眺めながら気持ちよく乗れました。シートも疲れないし、通路が広く、つかまるところが多くて安心」と気に入ったようでした。

「これから年を重ねねば、たとえ車があつても運転も心配一度乗つてみれば便利さがわかるので、皆さんも乗つてみてはいかがでしょうか」と呼びかけていました。

「肝心なところにいながらまと
寄つてくれるのでとても便利
ですね」と感想を話しました。
「時間とコースを覚えておけ
ば、散歩の帰りに一升瓶や油
など重い買い物をしても無理
せず持つて帰れるので助かり
ます」とも。「病院や買い物は
午前中に行くことが多いので
水・土の運行日に予定を立て
て利用しようと思います」と
話してくれました。

い物客2人を降ろし、町立診療所を経て「スニックホールへ」で9分停車し、10時40分発の第3便となつて出発。光南福祉館を回り、乗車した場所に戻ると、嘉藤さんと、もう1人利用者が下車し、浦バスに別れを告げました。

「バス自体が憩いの場に」

留真温泉行

通院・買い物に貴重な「足」郊外路線

留真温泉行のバスは、毎週水曜日・土曜日の午後に運行しており、1日平均10人程度の利用者があります。4月・5月に2回、町民の皆さんと一緒に乗車し、お話を伺いました。始発の光南福祉館をはじめ、市街地各地から、次々と町民の皆さんのが乗り込んできました。60～80代の方が中心です。温泉までの間、皆でゆったりあしゃべりを楽しめます。

多くの人が「浦バス」以前の送迎バス時代から水曜・土曜ごとに通う常連さんですが、初見の私もすぐに打ち解けることができました。

「浦バス」を利用しての感想を伺うと、「バス自体が憩いの場所になっている」「運行時間（光南福祉館13時15分発、留真温泉16時発）がちょうどよい」といった話をしていました。

私は燃料代がかかるので「乗降時の段差がなく、助かる」など「無料なのが良い。自家用車では燃料代がかかるので」「乗降の声が出ました。

14時に温泉に着くと、皆さん1時間半ほどゆっくりと入ります。皆さんさわやかな笑顔です。「家で1人で入

り、ぐつろいでから帰路のバスに乗ります。皆さんさわやかで、みんな笑顔です。「家で1人で入



留真温泉に着き、笑顔で浦バスを降りる利用者



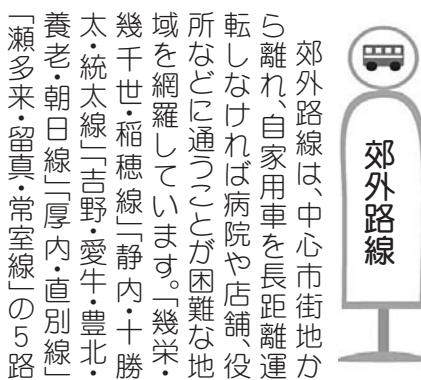
るより、こうして皆で入れば倒れたりしても安心」「バスで通うことが健康の秘訣になつ私もすぐに打ち解けることができました。また、JRを利用すれば、JRを利用すれば、帯広方面から日帰り入浴が可能な時間設定にもなっています。町民の皆さんとどんどん便利な使い方を見つけていたらと思います。

また、風呂上がりに温泉周辺で山菜取りを楽しむなど、思い思いに待ち時間を利用していました。

温泉行のバスですが、途中で乗降することも可能です。

私が試乗した際も、老人

ホームから自宅まで乗車した方もいらっしゃいましたし、常室・円山方面の方の日常の利用、また利活用が進められている旧常室小学校で乗降す



乗客の皆さんのお声を伺うと、「バスの中でのあしゃべりが」「バスの中でのあしゃべりが」という声や、「1人暮らしで自家用車所などに通つことが困難な地域を網羅しています。「幾栄・転しなければ病院や店舗、役所などに通つことが困難な地

域があり、それぞれ週2回、地域から市街地に向かう往路は午前中、復路は午後に運行しています。乗車人数は路線によつてさまざまですが、それ住民の足となつています。乗車人数は路線に乗車して、町民の皆さんのお声を

お聞きしました。始発点を10時10分に発車後、バス停のほか、自由乗降のシステムを利用して、それぞれの自宅近くからも次々と乗車されました。また、JRの駅がなくなりつてしまつた上厚内地区では、唯一の交通機関となつてきました。ほとんどの高齢の方です。



「浦バス」運行日

市街地循環	水曜日・土曜日	
留真温泉行	水曜日・土曜日	
郊外路線		
月曜日	幾栄・幾千世・稻穂線	静内・十勝太・統太線
火曜日	吉野・愛牛・豊北・養老・朝日線	厚内・直別線
水曜日	静内・十勝太・統太線	瀬多来・留真・常室線
木曜日	吉野・愛牛・豊北・養老・朝日線	厚内・直別線
金曜日	瀬多来・留真・常室線	幾栄・幾千世・稻穂線

*郊外部と留真温泉を結ぶ無料送迎バスは従来通り予約制で運行しています

※浦幌町コミュニティバス「浦バス」のお問い合わせは
役場まちづくり政策課まちづくり推進係 Tel 576-2112 へ

※路線図・時刻表は、役場まちづくり政策課窓口で配布しているほか
町ホームページ <https://www.urahoro.jp/> でも参照・ダウンロード
できます。

ご意見お待ちしています
浦幌町コミュニティバスは、公共交通空白地域の交通手段の確保を図るため、既存のバス路線を再編・統合し、これに市街地循環バスを併せ運行しています。多くの方に利用いただきため、運賃は無料とし、路線上であれば自由に乗り降りができますので、買い物や通院、友人宅に遊びに行くなど、ちょっととしたことにもご利用いただけます。

コミバスが運行してから約1年半、これまでに多くの方のご利用をいただいておりますが、「利用したことがない！」という声もお聞きます。まだコミバスに乗車したこと�이無い方、ぜひ一度ご利用ください！そして、乗車して思つたこと（この道を通つたほうがいい…などなど）をお聞かせください。皆様からのご意見を参考に直さなければならぬところは改善し、より利用しやすいコミバスにしていきたいと思っていますので、多くの方のご利用とご意見をお待ちしております。

（まちづくり政策課まちづくり推進係）